

2021年4月海洋観測結果について

赤碕ラインは3月25日、長尾鼻ラインは3月31日において、栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ

(<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	13m	133.40	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00 </td <td>35.3700</td>	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

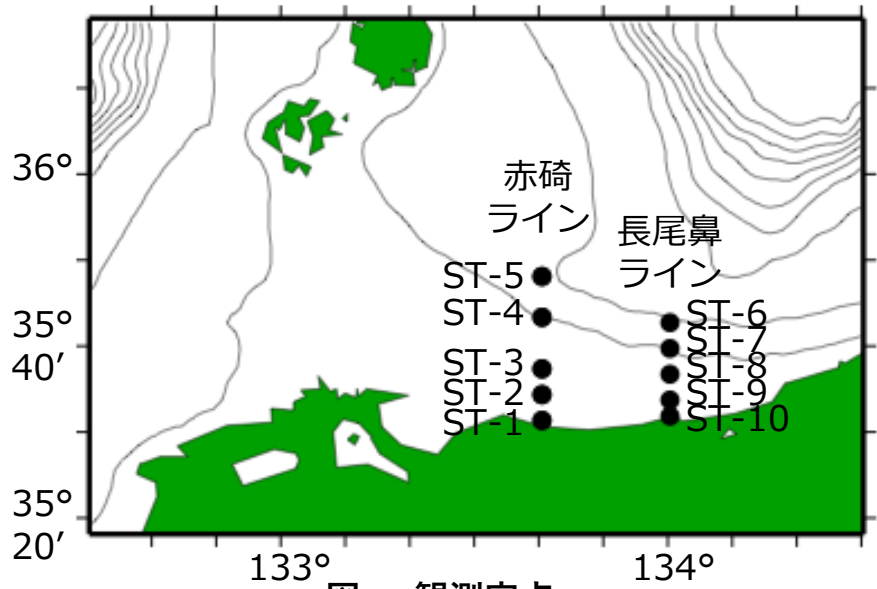


図1 観測定点

【鉛直分布図】

発達した混合層が確認され、赤碕ラインでは水深0-166m、長尾鼻ラインでは水深0-150mで12-14℃の海水温を確認しました（図2：図中の数字は海水温）。

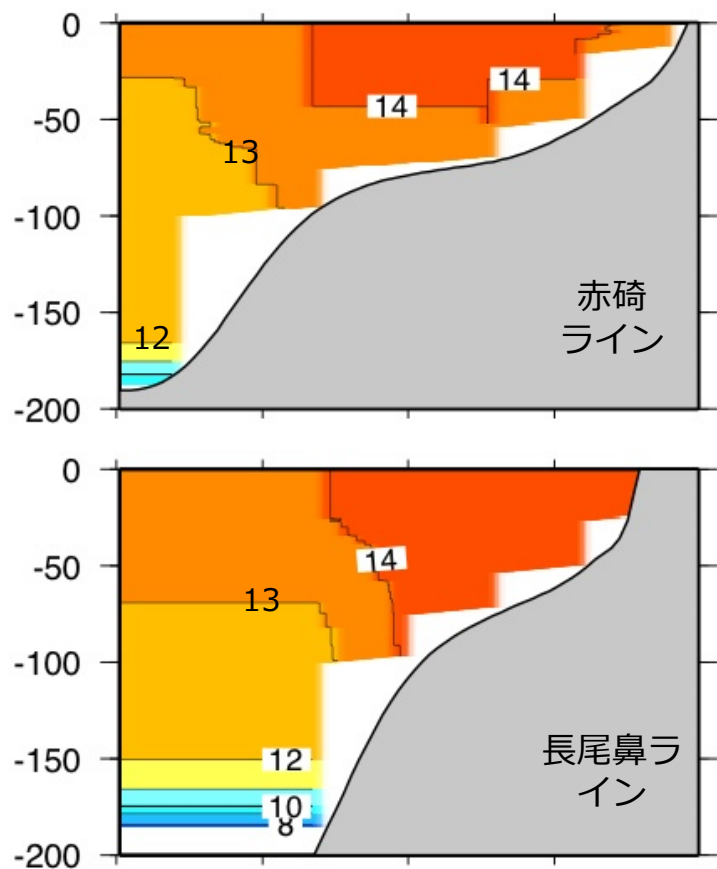


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【4月観測の水深帯別の比較】

2021年4月観測時点では、0.5-1.5℃高い水温となりました（表2）。特に長尾鼻ラインで高水温が確認され、昨年よりも0.4-0.6℃高い水温でした。

表2 各調査ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2021年	14.0	13.7	13.6	12.9	14.2	14.2	14.1	13.4
前年	14.0	14.1	14.0	13.1	13.8	13.8	13.5	13.0
2011-20年平均	12.8	12.8	12.8	12.4	12.9	12.7	12.7	12.5
平年差	1.1	0.9	0.9	0.5	1.4	1.5	1.4	0.9

【2021年1月の主要魚種の漁獲動向】

鳥取県漁獲情報システムの1月速報値から、主要魚種の漁獲量比較を行いました。海況が悪かったこともあり、総漁獲量は、前年、5年平均（2015-19年）を下回りました（図3）。前年、5年平均を大きく下回った魚種は、ブリ（ハマチ銘柄）、ヒラマサ、たい類でした。

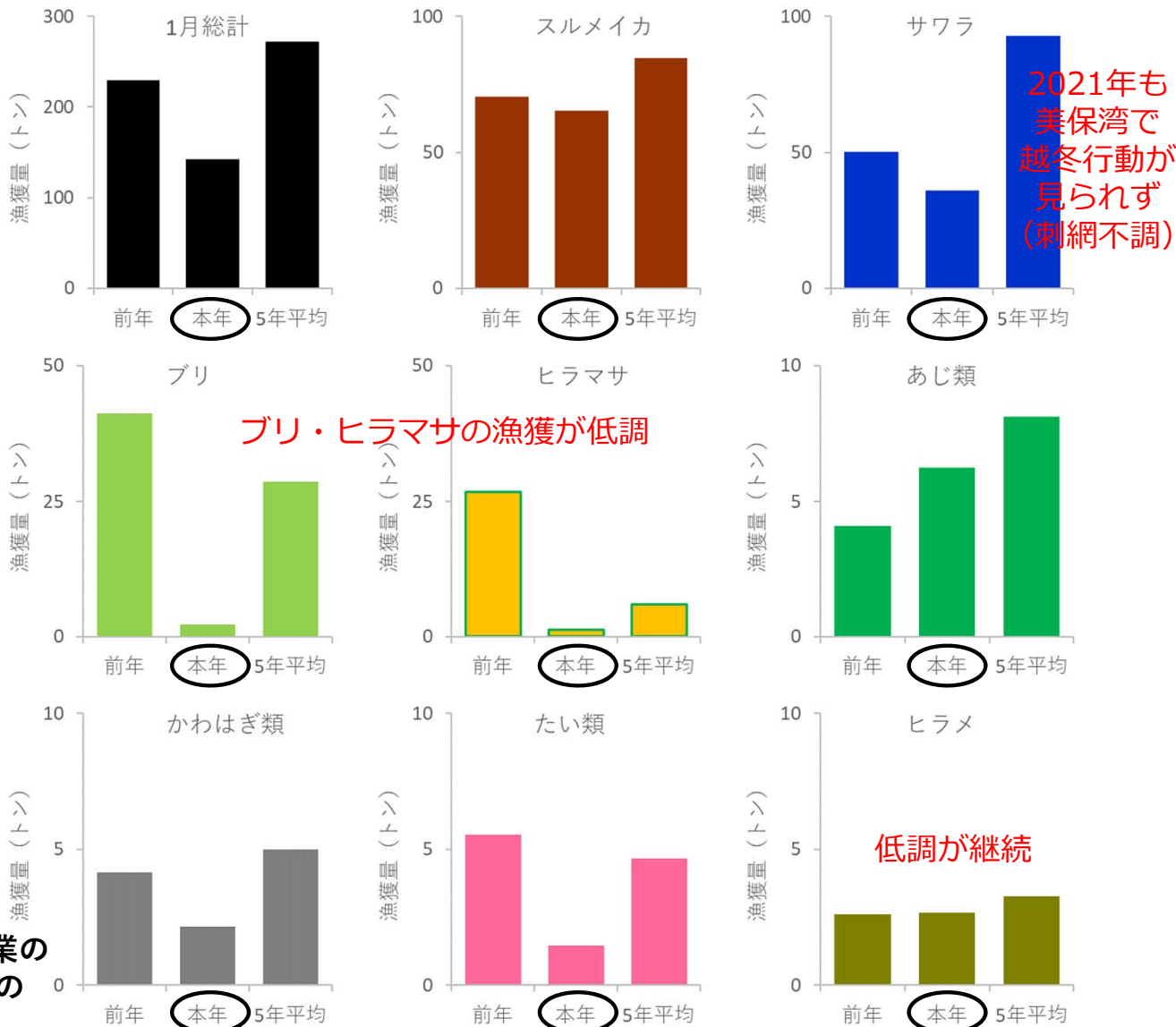


図3 1月沿岸漁業の主要漁獲物の漁獲状況